

**10月11日(日)「第49回ナナカマド賞」(BG3)の結果
～クリスタルザイオン号が力強い末脚で抜け出し、2歳世代最初の重賞を制す！～**

2026年10月11日(日)に行われた「第49回ナナカマド賞」(2歳オープン・BG3)は、クリスタルザイオン号が第二障害を下りてから力強く抜け出し、2歳世代最初の重賞競走を制しました。

馬場水分 1.2%、ばんえい重量 570 kg～580 kgと全馬初めて曳く重量で行われた本レース。各馬一斉にスタートから飛び出し、クリスタルザイオン号を先頭に軽快に第一障害を越えていきます。道中はほぼ横並びの展開で、各馬が先頭を入れ替えながら進みます。やがてフジノモンスター号とアオニシキ号が並んでわずかに前へ出て、先頭で第二障害に到達します。

第二障害下では各馬じっくりと息を入れ、フジノモンスター号が最初に仕掛けます。これに続いてクリスタルザイオン号、アオニシキ号、ビエイキャノン号も登坂を開始。そのままフジノモンスター号がすんなりと障害をクリアし、差なくクリスタルザイオン号、アオニシキ号が続きます。障害を下りたクリスタルザイオン号が一気にフジノモンスター号に並びかけ、2頭のマッチレースになるかと思われましたが、残り 20m を過ぎたところでフジノモンスター号の脚が止まり、クリスタルザイオン号が一気に突き放します。2番手以下も懸命に食い下がりますが、最後まで力強い伸び脚を見せたクリスタルザイオン号が先頭でゴール。嬉しい重賞初制覇を飾りました。

2着にはアオニシキ号、3着にはフジノモンスター号が入りました。

クリスタルザイオン号を管理する西弘美調教師は「ナナカマド賞」初制覇。騎乗した西謙一騎手は、ホクセイパルシェ号で制した 2023 年以來 2 度目の制覇となりました。

記

＜クリスタルザイオン号のプロフィール＞ ※2026年10月11日現在

生年月日・毛色：2024年3月30日（牡2歳・鹿毛）

血統：父 スピードフジ 母 桜 姫（母父） ヤマトゼンシン

生産者：守屋 弘子氏

馬主：小向 翔太氏

厩舎：西 弘美厩舎

通算成績：7戦4勝（うち重賞1勝）



【西弘美調教師のコメント】

大変嬉しいです。

子馬の時に見た際、長年の勘で良い馬だと思いました。

当時は兄のクリスタルコルドよりも小柄な馬でした。

ここまで順調に育ってくれていて、すごく聞き分けの良い馬です。調教も覚えが良く、とても楽です。状態もだいぶ充実していて、青雲賞の時よりも良かったかなと思います。この馬の良さは、若馬らしく行く気が十分なところだと思います。

今日のレースは良い流れでスタートしましたが、障害では後ろからだったので、どうかなと思いながら見ていました。最後の直線はしっかりと止まらずに歩いてくれて良かったです。

騎手がいつもトレーニングをしているので、馬のことは分かっていると思います。



このまま育っていったら、兄のように活躍してくれることを期待しています。
また、頑張りますので、応援よろしくお願いします。

【西謙一騎手のコメント】

ひとまず（ナナカマド賞を）取ることができてホッとしています。

初めて見たのが牧場にいた時でしたが、兄のクリスタルコルドに見た目から似ているなと思いました。入厩してから、普段はやる気がないのに、レースになるとやる気満々になるなど似ているところばかりです。馴致（じゅんち）も全然楽でした。

今日はいつも通りでしたが、馬場が少し重かったのでそこだけ気をつけながら騎乗しました。

周りの馬には合わせず、この馬のペースで行きました。障害を下りてからも割と辛抱強いので止まることはないと思いました。

兄が取れなかったこのレースを取れたので、まだ兄の域には達していないですが、これから期待したいです。

また取れるように頑張りますので、応援よろしくお願いします。

以 上

<報道関係者 各位>

ご不明な点がございましたら以下までご連絡ください。

なお、掲載の写真等をご使用の際は【提供：ばんえい十勝】のクレジットの記載をお願いいたします。

ばんえい十勝 広報担当 藤田・中村・高尾・岩渕

〔電話〕帯広競馬場 0155-34-0825(代)

※火・水曜除く9:30～18:15 ナイター開催日（土・日・月）12:30～21:15

〔ばんえい十勝公式ホームページ〕 <https://www.banei-keiba.or.jp/>